

☆こちらはこんな晴れだけど、、、。



♪ 9月11日(土)の風良里の空。風は強いですが、、、。

風良里の空は上記画像のとおり快晴でも、関東、東北地方は一昨日来の大雨。鬼怒川の堤防が決壊したりと思いがけない大被害に。台風 18 号自体は大した勢力でなかったのに、遠く離れた関東でこのような影響が出ようとは誰も予想しなかったでしょう。栃木には知人もいたので心配です。

『天災は忘れたころにやって来る』というのは高知県出身の物理学者寺田寅彦の有名な言葉ですが、どうしてもこのような自然現象が起こった『後追い』になってしまいがち。それは私達自身にも当てはまることで、文明を誇る人間も自然の力の前にはちっぽけな存在なのかもしれません。

被災地の日も早い復興をお祈りいたします。

猫のしっぽ 線。上記(本文)記事の関東、東北地方の豪雨でしばしば聞かれた言葉『線状降水帯』、二つの方向から湿った空気が流れ込み、ぶつかり合って積乱雲が発達、帯状に広がる状態だそう。ここ高知でも似たような状況が何度か起きています。風良里がオープンする前年 1998(平成 10)年の『98 高知豪雨』などがそれでは。この日は偶々車で走った道が 5 時間後には水の底に。台風のような暴風を伴わない降雨のみで身の危険を感じたのは、後にも先にもこの時だけです。線は細く感じて連なって停滞することで大きな被害に。雨所高知でも、油断せずに備えなければ。風猫子